



2024年度 第1四半期業績



売上収益

¥1兆2,080億円

恒常為替レート (CER) ベースで+2.1%

実勢レート (AER) ベースで+14.1%

Core営業利益

3,823億円

+4.5% の成長（CERベース）
+17.1% の成長（AERベース）
想定より緩やかな後発品による
マイナス影響、研究開発費の期
ずれ、その他の営業経費の減少
が寄与

Core営業利益率

31.6%

後発品によるマイナス影響は
今後数四半期で加速すると想定

財務ベース営業利益

1,663億円

△1.3% の減少（AERベース）
無形資産の減損損失、効率化プロ
グラムに伴う事業構造再編費用を
反映

引き続き成長製品・新製品が
力強く業績を牽引

46%

売上収益全体に占める割合

+17.8%

CERベースの成長

Core売上収益

4兆3,500億円

Core営業利益

1兆円

Core EPS

431円

成長製品・新製品が引き続き力強く牽引し
今年度想定している後発品による影響を軽減する見通し

通期マネジメントガイダンス（CERベース）

Core売上収益

横ばいから
やや減少

Core営業利益

約10%の
減少

Core EPS

10%台半ばの
減少



本プレゼンテーションには、当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。重要な注意文言を含む、当社の将来に関する見通し情報に関する詳細については、当社の2024年度第1四半期業績の投資家向けプレゼンテーション (<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>) をご参照ください。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品の効能を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。CER (Constant Exchange Rate : 恒常為替レート) ベースの増減は、当期の国際会計基準 (IFRS) に準拠した業績またはCore財務指標 (Non-IFRS) 業績について、前年同期に適用した為替レートを用いて換算することにより、前年同期との比較において為替影響を控除するものです。

Core売上収益、Core営業利益、Core当期利益 (親会社の所有者帰属分)、Core EPS、CER (Constant Exchange Rate : 恒常為替レート) ベースの増減、純有利子負債、調整後純有利子負債、EBITDA、調整後EBITDA、フリー・キャッシュ・フロー、調整後フリー・キャッシュ・フローは、IFRSに準拠しない財務指標です。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、当社の2024年度第1四半期決算の投資家向けプレゼンテーション (<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>) の末尾にある財務補足情報を参照の上、その定義と、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との調整表をご参照くださいますようお願い申し上げます。